

「病院整備の基本方針(骨子案)」に関するパブリックコメントの実施結果及び意見に対する区の考え方について

1 パブリックコメントの実施結果

(1)実施期間

平成 29 年 1 月 27 日(金曜日)から平成 29 年 2 月 27 日(月曜日)まで

(2)意見提出者数

意見提出者数 74 名

・提出者属性、年齢

年齢	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	不明	合計
男性	1		1	4	7	9	15	37
女性			3	1	3	13	17	37
合計	1		4	5	10	22	32	74

・提出方法

HP 入力フォーム 7 名、FAX 10 名、郵送 16 名、窓口持参 41 名

(3)意見の件数

意見の件数 179 件

2 意見の内容及び区の考え方

No.	意見の概要	件数	区の考え方
【区民が安心できる地域医療の充実に関すること】 66 件			
《救急医療の確保に関すること》 8 件			
1	東京女子医科大学には、救急医療の確保を望みます。	1	病院整備の基本方針で示した足立区が目指すべき新病院のあり方に基づき、区内初となる三次救急を担う「救命救急センター」を整備し、引き続き東医療センターが三次救急を提供することにより、区内における救急医療の確保に努めてまいります。
2	三次医療を担う病院が出来る事は大歓迎です。	1	
3	基本方針に賛成です。救急医療充実につとめて下さい。	1	
4	東京女子医科大学には、救急受入れを多くすることを望みます。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
5	ドクターカーを配置し、救命率の向上を図るべきでは。	1	病院整備の基本方針で示した足立区が目指すべき新病院のあり方に基づき、区内初となる三次救急を担う「救命救急センター」を整備し、引き続き東医療センターが三次救急を提供することにより、区内における救急医療の確保に努めてまいります。 具体的な救急医療機能や診療科目などについては、今後、東京女子医科大学と協議、調整してまいります。
6	厚生労働省の救命救急センター充実度評価に来年度から「地域連携」の項目が入ることを踏まえ、受け入れた救急患者の容態が安定した際に転院できる医療機関を確保する。それにより病床を常に空けておき、救急搬送の受け入れを断らない環境を整備する。できれば、すべての重症患者を受け入れる ER 型の救命救急センターとなることを希望する。	1	
7	自殺未遂者などに対応できる「精神科救急」の体制を整える。精神科病院と連携し、常に精神科医からアドバイスを受けられるようにしてほしい。	1	
8	骨折して救急で運ばれた経験から、緊急の時の地元枠を作ってもらえるよう病院側と交渉して欲しい(一時的でも)。私は比較的近い病院だったので老々介護でも何とかのりきれた。	1	
《災害時医療の拠点に関すること》 13 件			
9	災害拠点中核病院として、災害時医療の充実につとめて下さい。	1	「足立区地域防災計画」において、「災害拠点中核病院」に指定されている現東医療センターは、区内の拠点病院と一体的に災害対策を行うことを明記しております。 足立区移転後にも、区東北部医療圏における「災害拠点中核病院」の機能の確保が必要であると考えております。 区と病院との災害対策につきましては、双方が連携協力に努め区民の安心感を高めてまいります。 また、移転予定地の周辺は大災害時における避難場所に指定されており、その中に医療機関があることは、災害時の医療救護活動で大きな役割を果たすことが期待できます。
10 11	病院機能も当然ですが、地震、水害などによる多数負傷者の受け入れ、病院スタッフの安全確保は地域ぐるみの問題です。地域全体の災害安全対策も同時の検討課題です。	2	
12	大規模災害時にも災害拠点病院の機能を維持するため、病棟などの建物は耐震ではなく免震構造とする。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
13 14	長期の停電や一時的な停電に備え、重油やガスタービンによる自家発電装置や太陽光発電など救急棟の電源を多重化する。	2	「足立区地域防災計画」において、「災害拠点中核病院」に指定されている現東医療センターは、区内の拠点病院と一体的に災害対策を行うことを明記しております。 足立区移転後にも、区東北部医療圏における「災害拠点中核病院」の機能の確保が必要であると考えております。 区と病院との災害対策につきましては、双方が連携協力に努め区民の安心感を高めてまいります。 また、移転予定地の周辺は大災害時における避難場所に指定されており、その中に医療機関があることは、災害時の医療救護活動で大きな役割を果たすことが期待できます。 なお、具体的な施設機能、医療機器、病院設備、ヘリポート設置などにつきましては、今後、東京女子医科大学と調整してまいります。
15	院内で少なくとも5日分の水を確保できる貯水槽の設置に加え、井水（井戸水）を活用した水浄化システムを備え、災害時にも院内で使える飲用水などを確保する。	1	
16	大量の負傷者が運び込まれる事態を想定し、病棟の1階の受付や待合スペースをトリアージスペースとして転用できるようにする。	1	
17 18	災害時は、高齢者、障害者及び乳幼児が安心して避難できるような施設や救護体制を一緒につくってほしい。	2	
19	屋上にヘリポートを設ける場合、地上よりも風速が強くヘリの発着に支障をきたしている大学病院もあるため、屋上にヘリポートを設ける場合は、地上にも駐車場と兼用した臨時ヘリポートを確保する。	1	
20	「災害時医療の拠点」となるためのヘリコプター離発着場の新設は財政、人財の両面から不可能と知る時を迎えることになる。	1	
21	救難ヘリ配置の規模では有りません。	1	
《周産期機能の充実に関すること》 5件			
22 23	周産期機能の充実とありますが、足立区には産院が限られ妊婦は不安です。この際安心して出産できる産院の拡充も併せて検討してください。	2	病院整備の基本方針で示した足立区が目指すべき新病院のあり方に基づき、新東医療センター整備を図るとともに、足立区医師会との連携協力を進め、区内の周産期機能の充実方策を検討してまいります。
24	産婦人科を設置してほしい。産科は区内に少なく、私も苦労しました。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
25	総合周産母子医療センターを設置する際は、妊産婦のうつ病（産後うつを含む）にも対応できるように、精神科医を必ず配置するべきである。	1	病院整備の基本方針で示した足立区が目指すべき新病院のあり方に基づき、新東医療センター整備を図るとともに、足立区医師会との連携協力を進め、区内の周産期機能の充実方策を検討してまいります。
26	「周産期機能の充実」の項では、人口減のトレンドが続いている現状を鑑みて望ましい分野とは考えにくい	1	
《がん診療機能の充実に関すること》 12 件			
27 ～ 31	東京女子医科大学には、がん診療の充実を望みます。 東医療センターになく新宿の女子医大に行ったことがあるので設置してください。癌診療科を設けてほしい。乳がん検診も実施してほしい。 など	5	病院整備の基本方針で示した足立区が目指すべき新病院のあり方に基づき、がん診療機能の充実について、東京女子医科大学と協議、調整を行い、区民の皆さんが受療できる機能の充実に取組んでまいります。 なお、具体的な施設機能、診療科目、診療環境などにつきましては、今後、東京女子医科大学と調整してまいります。
32	放射線治療を受けられるガン病棟を作ってください。	1	
33	緩和ケア病棟を設ける必要がある。	1	
34	薬剤師を病棟に配置し、抗がん剤などの情報や効能を患者に説明できる環境を整える必要あるのでは。	1	
35	がんなどの外来患者向けに在宅での栄養管理を行なえるアドバイザーを配置することが重要である。	1	
36	がん患者の相談に応じられる臨床心理士を配置し、心のケアを行なえる体制を整える。	1	
37	「ガン診療に係る機能の整備・充実を推進する」等を目的とするなら、施設の完成を見ずに事業の破綻を迎えることは必定である。	1	
38	現行のガンの治療法自体が治療効果ゼロ%という不都合な治療法であることを日本癌学会が昭和 50 年 1 月 4 日読売新聞朝刊一面で発表済みです。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
《小児医療の提供に関すること》 10 件			
39 ～ 42	東京女子医大病院は、小児科として期待しています。小児救急の拠点となるようにしてください。	4	<p>現在、東京女子医科大学東医療センターにおいて実施している小児科、小児救急医療につきましては、移転後も引き続き実施していただけるものと、東京女子医科大学から聞いております。</p> <p>今後、病院整備の基本方針に反映させていただきます。</p>
43 ～ 45	小児科を設置してほしい。 女子医大が引っ越しすると小児科(外来、救急)がなくなると聞きました。本当でしょうか。本当だと困ります。一刻を争う状況だった場合女子医大の受け入れ先がなくなると不安です。	3	
46	<p>東京女子医科大学の東医療センターの足立区への移転については、私立大学の医療機関を多大な税金を使ってまで、誘致するということに対して、如何なものかと異論を唱える方も居りますが、足立区と区東北部の区民のために、この時期（チャンス）を逃がさないという区長のお気持ちも理解できるところです。それであるなら、区内で不足している医療分野を補填できる医療機関が望まれている事になり、このことは「区内で完結する事のできる医療」を目指す我々としても反対するものではありません。</p> <p>足立区のデータによると現在人口約68万人の中で、平成25年の14歳以下の人口は83,285人でしたが、平成29年には81,885人と少子化が進んでいる現状であります。子育てに安心な足立区を目指す事に対しては異論が無いものと思います。</p> <p>しかしながら現在、大変残念な事ではありますが、小児医療に関しては区内に小児救急を扱う医療機関が1医療機関しかない現状であります。</p> <p>「足立区が目指すべき新病院のあり方」への具体的な方策のなかで、「誘致することで、不足する機能を整備す</p>	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
	<p>ることが可能になると考えられます。」と示しており、さらに、基本方針の中においても区民が安心できる医療の充実のとして、(1)救急医療の確保を挙げております。女子医大東医療センターの移転には、高度医療と高度救命センターの3次医療、周産期医療のほかに小児救急事業も条件としていたはずでです。足立区の未来を担う子供達の健康を守る為にも、大学病院として地域医療に貢献していただく為にも小児救急事業は是非、行っていたきたいと思っております。特に当該医療機関は地域医療支援病院としての役目もあり、その目的および承認用件のなかに「救急医療の提供」とあります。当然ながら、小児救急も含まれるものと考えます。当初に予定していた小児救急が本骨子案の中に含まれていないことについては大変遺憾な事であり、異議を申し上げます。</p> <p>つきましては、今一度再考いただきたくお願い申し上げます。</p>		<p>現在、東京女子医科大学東医療センターにおいて実施している小児科、小児救急医療につきましては、移転後も引き続き実施していただけるものと、東京女子医科大学から聞いております。</p> <p>今後、病院整備の基本方針に反映させていただきます。</p>
47	周産期機能の充実に合わせて小児医療の充実もしてください。	1	今後、東京女子医科大学と協議、調整を加え、区民の皆さんが期待する小児医療が受診できるよう努めてまいります。
48	周産期機能の充実に合せて小児科病棟の充実も希望します。	1	
《その他診療科目などの要望に関すること》		18 件	
49 ～ 55	老人専門の医療センターを確立して欲しい。老人病院を作ってください。一人暮らしの在宅医療は限界があると思いますので。介護保健施設などの併設をしてください。	7	病院の機能、診療科目などの決定はまだ先になりますが、東医療センターが大学病院として、有効に地域医療に貢献できるよう東京女子医科大学に要望してまいります。
56 57	高齢者リハビリセンター設置をお願いします。リハビリ科を設置など	2	
58	高齢化にともない在宅医療の充実を実行してほしい。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
59	脳神経科の設置もめざして下さい。	1	病院の機能、診療科目などの決定はまだ先になりますが、東医療センターが大学病院として、有効に地域医療に貢献できるよう東京女子医科大学に要望してまいります。
60	脳神経内科を設置ください	1	
61	精神科病棟を作ってください。特に重病患者への対応が可能な施設を希望	1	
62	すぐ行ける循環器の病院の人も必要。	1	
63	総合病院で、24 時間開放された病院であってほしい。	1	
64	長期の入院が必要な患者がよく病院をおい出されあちこちに廻される事がありますが治るまでの入院が出来る様な設備がほしい。	1	
65	安く丁寧親切な病院にしてください。	1	
66	大学病院が出来る事にとっても期待しています。大学病院は診察までの待時間が長く疲れてしまいます。少しでも待時間が短くなるようお願いします。	1	
【地域医療との連携に関すること】 3 件			
67	大学病院と町医者間での情報の共有を構築します。大学病院の仕事と町医者の仕事それぞれに相応しい仕事を棲み分けて往診できるネットワーク作りです。このことは、ピラミット型の構造になると予想されます。上下関係が生じます。既存の医療機関のプライドを傷つけることがないようにする必要があります。	1	現在の東医療センターは、「地域医療支援病院」として病院を運営しており、移転後も「地域医療支援病院」を続ける予定です。 今後設置する足立区医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京女子医科大学、足立区などで構成する運営協議会において、それぞれの役割を共有しながら地域医療との連携体制を構築できるよう努めてまいります。
68	地域の医療機関と連携し、ICT を活用したネットワークを構築し、カルテなどの診療情報を共有し、紹介・逆紹介率を上げる。それにより、大学病院にしかできない専門的な医療の提供や高度な医療提供に注力する。	1	
69	地域連携医療を充実したものになる様にしてください。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
【新病院の開設に期待、意見に関すること】		15 件	
70	病院整備に関して、とても良いことだと思います。私も他地区の病院にかよっています。できるだけ近い所に大きい病院が出来ることは賛成です。	1	<p>皆さまから頂きましたご期待やご意見につきましては、東京女子医科大学にお伝えさせていただきます。</p> <p>また、多くの区民の皆さまが望む病院となるよう、東京女子医科大学に要望させていただきます。</p>
71	江北 4 丁目アパート自治会の大半の方が高齢者です。足腰の悪い方が多くさんおられますので近くに病院が出来れば非常に助かります。	1	
72	設備の調のった大学病院ならば歓迎です。早急に建設を望みます。	1	
73	一日も早い実現を希望します！！足立区には、大学病院がなく、少子高齢化社会の現在、特にこの地域は、高齢者が多く、どこの病院も患者であふれ、その上紹介状を持っては大学病院へと、再三繰り返している状況です。同じ様な経験を持つ人は少なくないと思います。以上の様な状況から、是非 1 日も早い実現を希望しております。よろしくお願い申し上げます。	1	
74	大学病院のある町になる事を誇りに思います。	1	
75	足立区に総合病院が出来る事は、地域にとって安心感と活性化になると思いますので、一日も早く出上がるのを楽しみにしています。	1	
76	地域住民として病院に対して全面協力体制を検討し維持しなければならない。	1	
77	新設病院として最先端の医療設備を期待しています。東京女子医大医療センターへ入院経験者としてすばらしい Dr が大勢いて安心して治療してもらいました。一日も早い開院を祈念しています。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
78	大学病院の設置は、患者により添った医療を心掛けて戴き、病院本位もしくは医師を含む医療従事者を優先した対応はしないようにお願いしたい。	1	皆さまから頂きましたご意見につきましては、東京女子医科大学にお伝えさせていただきます。 今後設置する足立区医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京女子医科大学、足立区などで構成する運営協議会において、多くの区民の皆さまが望む病院となるよう、協議、調整をかさねてまいります。
79	大学側の要望のみを受けることなく、足立区側の議員、有識者等専門家、住民等の意見要望を具申し、設置後も足立区において協同的な立場で医療機関の発展に向けて築き上げて欲しい。	1	
80	子どもが熱を出していて苦しんでいる休日に、私立(大学)病院で受診し休日加算の様な 6000 円～7000 円くらい支払いましたが、その時には熱の原因がわかりませんでした。大学病院なのになぜ、もっと深く診察してくれないのか疑問に思いました。その時は、インフルエンザの検査をしておわりでした。地域住民の深い要求をもっと聞くべきだと思います。	1	皆さまから頂きましたご意見につきましては、東京女子医科大学にお伝えさせていただきます。 なお今後、東京女子医科大学との協議、調整を進め、多くの区民の皆さまが望む病院となるようしっかり努めてまいります。
81	手術失敗された為、生検をとってもらったが分らなかった。他の病院で癌と分り、手術成功しました。看護師のレベルが低い(質が悪い)、研修医がチェストチューブが入らなくて痛い思いをした。社会福祉法人の病院か公立の病院にしてほしい。	1	
82	病床数の増設を図る目的は、余っている医師の吸収策と期待されているとすれば、このプロジェクト自体を返上して頂きたい。	1	
83	新病院の経営責任を足立区が担うことになるなら区職員のアマクダリ先の増設策に資するだけだからこのプロジェクトは中止としてもらいたい。	1	
84	区財政力は現状でも脆弱を理由に民間に委託しているのに巨額の投資を要する大型病院の移設計画とすれば誤算も甚だしいと言わざるを得ない。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
【病院サービスに関すること】 31 件			
85 ～ 89	地元住民が、紹介状がなくても自由に診療できるようにして欲しい。 地域住民への診療の優遇措置として紹介状なしでいつでも受診できる等を考慮してほしい。など	5	現在の東医療センターは、「地域医療支援病院」として認定を受けています。この病院では、地域医療機関から紹介を受け診療治療を行い、患者の容態が安定した際には地域医療機関への逆紹介を行うことで、地域医療の充実を図ることとしています。 なお、東医療センターは移転後も「地域医療支援病院」を続ける予定で、このシステムでは、紹介状がない場合の診察は、有料となるそうです。
90 ～ 97	大学病院は紹介状なしでは診療できないそうです。 紹介状なしでも診療（初診）できる病院にして下さい。など	8	
98	入院病室は追加料のない一般病棟を多く作って下さい。	1	病院が差額ベッドを配置する割合の上限は、5割といわれており、現在の東医療センターの割合は、3割と聞いています。 病院のベッド数や差額の生じないベッド数については、東医療センターの経営方針を鑑み定められることとなりますが、ご意見を東京女子医科大学にお伝えするとともに、多くの区民の皆さまが利用しやすい病院となるよう、東京女子医科大学に要望させていただきます。
99 100	差額金の取らない地域密着にして欲しい。	2	
101	年金は減少、国民保険料・介護保険は大幅アップ、消費税増税など実質的収入は大きく減っています。差額ベッド代はゼロにしてください。	1	
102	高齢者が多く居住しているので、要望を聞くようにして下さい。この地域は差額ベッドのない病院につながる診療所があり、とても助けられています。より良い連携を望みます。	1	
103 ～ 109	無料の送迎バスを作って、病院に行きやすくしてほしい。 無料の送迎バスを多方面から出して下さい。など	7	無料の送迎バスの設置など、区民の皆さまが利用しやすい病院となるよう、東京女子医科大学に要望させていただきます。
110	大学病院の誘致は区民、地域で待ちに待っていました。毎日のように救急車のサイレンが聞こえ、これ以上になる事と思われますが、地域の方が通院、入院に際して優先して頂ける様、懇願します。	1	多くの区民の皆さまが利用しやすい病院となるよう、東京女子医科大学に要望させていただきます。
111	急に行った場合も見てほしい。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
112	生保の福祉家庭はすぐかかれないのでかかれるようにして欲しい。	1	多くの区民の皆さまが利用しやすい病院となるよう、東京女子医科大学に要望させていただきます。
113	自分の係る病室の場所が分りにくい	1	
114	先生の病状の説明が解りにくいので解りやすく教えてもらいたいです！	1	
115	診療時間を長くしてほしい。	1	
【新病院施設計画に関すること】 7 件			
116	緑豊かな病院環境を望みます。	1	新病院の施設計画に反映できるよう、東京女子医科大学と調整を進めてまいります。
117	散策出来るような庭に四季折々の花や木を植えてください。	1	
118	病院内に食堂を作って欲しい	1	
119	病院へ自転車が無料における病院。	1	
120	新たな東京女子医科大学東医療センターは、バスが乗りやすい、センターにバスを入れる様にして欲しい。	1	施設内にバスが乗り入れできるなど利用者にとって便利な病院となるよう東京女子医科大学に要望してまいります。
121	足立区において多額の税金を投入することですから「名称名」に足立区の名称等何らかの地域名等を入れて足立区を含むこの地域の基幹医療として周知を考慮してもらいたい。	1	ご意見を東京女子医科大学にお伝えし、区民の皆さまに親しまれる名前となれるよう働きかけを行ってまいります。
122	看護学校を作ってください。	1	東京女子医科大学から看護専門学校が併設される予定と聞いております。
【交通網に関すること】 11 件			
123	小台から東京女子医科大学東医療センターに向うバスを多くして欲しい。	1	今後、「足立区総合交通計画」の見直しに取組むにあたり、病院利用者の交通利便性が高まるようバス事業者等に働きかけを進めてまいります。
124	新田三丁目新豊橋近くに居住、交通の便悪く新病院へ行くことに困難を感じます。都バスの増便、新設、コミュニティバスの新設などお願いします。新田は足立区の孤島です。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
125 ～ 127	今までバス一本で行けたのですが、移転すると交通が不便になるので、次の点を改善してほしいです。 1 都バスの江北四丁目行きの本数を増やして欲しい。 2 はるかぜの鹿浜五丁目行きのルートを増やして欲しい。 3 病院前にバスの停留所を新設して欲しい。	3	今後、「足立区総合交通計画」の見直しに取組むにあたり、病院利用者の交通利便性が高まるようバス事業者等に働きかけを進めてまいります。
128	病院が完成したあと、西新井からくるバス通り江北1丁目右折が出来ないため混雑が予想されます。右折の解除が必要だと思います。道路の変更が出来るなら検討をお願い致します。	1	頂いたご意見につきましては、周辺への交通環境等の将来予測を行いながら、対応に努めてまいります。
129	交通安全対策として病院の救急車等の出入りが多くなる。この地域には、車幅の狭い道路事情もありますので自転車歩行者に安全対策が絶対に必要となります。	1	
130	緊急車両の経路を考慮した道路整備などを望む。	1	
131 132	交通安全対策もくれぐれもお願いしたいと思います	2	
133	道路の混雑、車両の事で迷惑になることがない余裕の広さを考えて下さい。	1	
【住環境への影響に関すること】 9 件			
134 135	工事が始まると交通量が増える。又、病院が開院すれば夜間の救急車など、も増える。 そこで交番を設置するなど、対策を充分考えて欲しい。	2	東京女子医科大学に、工事中の工事車両安全対策などの配慮を充分行うよう要望してまいります。
136	建設工事に伴って工事車両は、環状 7 号線から出入りするようにお願いします。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
137 ～ 140	騒音対策。団地の建物の関係上今でも救急車のサイレンが建物に反響しているので、開院後増加する事は必定で騒音に悩まされる事が心配で団地内ではサイレンは自粛してほしい。 （24 時間のサイレンの音に悩まされる事がない様に）	4	東京女子医科大学に、夜間救急車のサイレン音や緊急車両の進入経路、離着陸時のヘリコプターの騒音対策などの工夫も要望してまいります。
141 142	ヘリコプター発着場を設置するとありますが、騒音は大丈夫なのでしょう か。一般住宅に対しての防音電波などの対策は考えているのか。	2	
【情報提供に関すること】 21 件			
143	2月27日までにパブリックコメント募集とは、如何にも時短の「一応主義」「アリバイ的」で、多くの区民意見など最初から聞く姿勢がない。広く住民意見集約をするべき。	1	パブリックコメントは、足立区自治基本条例第 10 条の定めた区民意見募集の方法です。手続きや募集期間などはパブリックコメント実施要綱で定めており、募集期間は、30 日以上としております。なお、今回は 1 月 27 日から 2 月 27 日まで実施し募集期間を 31 日とさせていただきました。
144	2月27日までのパブリックコメントは急ぎすぎです。区民の意見を言う時間が有りません。	1	また、パブリックコメント実施前には、区ホームページによる事前告知や、区広報でも実施のお知らせを行っております。 頂いたご意見を考慮し計画を策定するとともに、頂いたご意見に対する区の考え方を公表してまいります。
145	足立区の「基本方針」には賛成できません。しかし詳細がまるで解りません。区の「説明会開催」を現地の要望を聞き、足立区西部の地元を重視、最低数か所の企画を要望します。	1	このたびのパブリックコメントでは、計画の骨子をお示ししております。 区民の皆さまから頂きましたご意見を参考として計画づくりに取り組んでまいります。
146	足立区の「基本方針」には賛成できませんが、しかし詳細が細かくは解りません。区が気軽に行かれる病院とも思えません。区の「説明会開催」を地元重視した、複数ヶ所での計画を要望します。	1	なお新病院の具体的な内容が固まり次第、説明会等を開催し、地域のみなさまへ情報を提供させていただきます。

No.	意見の概要	件数	区の考え方
147 ～ 162	地元住民に、誘致病院の具体的説明会を至急に開いて欲しい。 不安のため近隣にさまざまな噂が飛び交っています。正しい情報が欲しいので早く説明会を開いてください。 なるべく早く説明会をして下さい。いろいろと聞きたい言いたいことがあります。お願いします。 病院は地域の要望ですが（できれば都立病院）、内容についてが良くわかりません。団地の集合場所なども使って（特に地元地域）きめ細かな説明会を開いて下さい。など	16	新たな東医療センターの移転計画の具体的な内容が固まり次第、説明会等を開催し、地域のみなさまへ情報を提供させていただきます。
163	いまだに住民に説明をしていないので、近隣住民に早急に説明会を開いてください。その際は、経過のみでなく、病院の内容（施設、規模）着工年月日および竣工年月日予定日を明示されたい。その他の付随工事（建物等を含む）があれば、その予定事項も含めて明らかにされたい。	1	
【その他】 12 件			
164 ～ 171	大学病院と「高野小・江北小の統廃合」と一体にしないでください。統廃合とは別問題です。 高野小、江北小の統廃合と大学病院整備は別のものとして、東京女子医大東医療センターの一日も早い開院を望みます。	8	病院整備の基本方針は、東京女子医科大学東医療センターの移転を実現するために作成しています。
172	高野小は、舎人ライナー駅が近く、特別支援学級があり通学に便利であり生徒もふえています。耐震補強もされ十分使用できる学校です。もっと子ども達のことを考えて下さい。地域住民は避難場所を失います。もっと住民の声を聞いてまずは、大学病院の建設を最優先して早期建設をお願いします。	1	

No.	意見の概要	件数	区の考え方
173	防災拠点としての学校の役割(地域文化のセンター的機能も)は全国の災害現場報告に明らかです。足立区の学校潰しには反対です。防災と医療は併せて考えるべきです。	1	病院整備の基本方針は、東京女子医科大学東医療センターの移転を実現するために作成しています。
174	学校の存続も、地域住民の願いです。都営住宅建設のために寄せられた土地ですから、都住や学校もある豊かな街づくり計画につながるものにして下さい。	1	したがって、病院移転と江北小学校と高野小学校の統合計画については、それぞれ別々に準備を進めてまいります。
175	足立区には公共病院、大学病院は現在皆無です。救急の利便性や交通の良し悪しなどの理由から江北エリアだけでなく、足立区中央部への設置予定は検討されていないのでしょうか。	1	大学病院の建設には、広大な敷地が必要になります。 残念ながら、現在、足立区中央部に適切な敷地は見当たらず、大学病院整備の検討は行っておりません。
【その他 区政運営に関すること】 4 件			
176 ～ 178	<p>大学病院が足立区にやってくることが決まりました。そのことを区民はすでに知ってます。しかし、そのことで、区民が負担する金額がいくらになるかを知っている人はどのくらいいるのでしょうか。巨大組織となる病院への負担額を区民として無視することはできません。病院はひと、もの、かね、そして情報を駆使して存続する高度な経営機関です。ゴーイングコンサーンとしての大学病院移転に伴い期待と要望そして心配事を大まかに述べさせていただきます。</p> <p>1 病院で働く人のチェックを定期的に行うことを提案します。仕事の内容、質、満足度等、そこから拾い出された情報はプライバシーを尊重し第三機関が公開します。特に医師の診る立場と診られる立場の両方に立ってもらう事でパラダイムをディスクローズします。</p>	3	<p>平成 27 年 4 月に足立区と東京女子医科大学とが取交した「東医療センター移転に関する覚書」では、区が病院用地を確保し貸出すこと、建設費等の一部を助成することを定めております。ちなみに毎年の運営費助成は含まれておりません。</p> <p>病院の経営状況や職員の勤務状況を把握し公表することについては、東医療センター自ら行うことで、区が関与しディスクローズすることは非常に難しいと思われます。</p> <p>なお、頂きましたご意見の企業情報、個人情報の取扱いなどの対応については、東京女子医科大学にお伝えしてまいります。</p>

No.	意見の概要	件数	区の考え方
	<p>2 医療機器購入と運用についての説明を定期的に行ってもらいます。眠っている機器がないようにするためです。無駄遣いをなくするのが目的です。適正な購入計画に基づき適正に運用されて初めて金融は健全化するからです。</p> <p>3 病院で働く人の給与の公開をします。出入りする取引先の公開も義務付けます。提供するサービスと受け取るサービスのバランスを見るためです。</p>		
179	<p>私は大学病院の世話になりたくありません。出来る限り近所の医者に診てもらおうようにしています。特に不満はありません。私は日常、教養ある生活を心がけるようにしています。しかし実生活では二日酔いで不快な朝を迎える時があります。前の晩に大呑した時です。自業自得です。二日酔いと病氣・ケガは大きく異なります。でも、請求書が出て来るのは同じです。それをだれが払うのでしょうか。</p> <p>1 大学病院という大きな買い物を足立区民はすることになりました。このことをきっかけに、必要なものと必要でないものの洗い直しをする機会にしてほしいと望みます。世間体を気にして不相応な買い物は禁物でしたが買ってしまいました。現実を見据えそこから安心・安全な足立区の建設に向けるためのきっかけとなることを大学病院足立区移転に期待します。</p>	1	<p>足立区は、今年 12 年ぶりに基本構想を策定しています。基本構想では、30 年後を踏まえた将来像を「協創力でつくる 活力あふれ 進化し続けるひと・まち 足立」としました。</p> <p>今後将来像の実現を目指した取組みの一つの視点として、現実を見据えそこから安心・安全な足立区の建設に向けた区政経営を行ってまいります。</p>